

区政に届け！オンライントーク 記録（概要）【R7.3.28 開催分】

1 日時

令和7年3月28日（金）19時～20時42分

2 テーマ

「選びたくなるまち～北区のブランディング～」

【応募要件（参考）】

- ・区内在住、在勤、在学の方
- ・オンライン会議ツール（Zoom）を使用できる方

3 出席者

参加者 15 名、区長、区長室長、政策経営部長、シティブランディング戦略課長、戦略広報・ブランディングアドバイザー

4 次第

- （1） 開会
- （2） 区長あいさつ
- （3） 区長説明（テーマについて）
- （4） グループワーク（A・B・Cグループに分かれて活動）
- （5） グループワーク発表
- （6） グループ間の意見交換
- （7） 区長あいさつ
- （8） 閉会

5 グループ間意見交換の概要

（1）Aグループの発表について

●Cグループ参加者

Aグループでは、どんな層をターゲットに設定して話合ったのか教えてほしい。また、SNSを使用しない層へのアプローチについての意見等も出ていたら教えてほしい。

●Aグループ参加者

ターゲットは絞らずに思い思いの意見を出し合った。SNSとかメディア等の媒体を使用したアプローチ以外にも日常の中で自分たちができることもあると思うので、開拓していきたいと思う。

●Bグループ参加者

発表を聞いて、「赤羽のせんべろ（千円でべろべろに酔える）」と「インフルエンサー」の掛け合わせに注目した。若者に注目されているユーチューバーの飲み歩きコンテンツで赤羽を取り上げられる機会が最近多い。若者がお店を調べるのに一番使うのはインスタグラムだと思う。インスタグラムを使って若者向けの飲み歩きコースを発信するコンテンツがあると面白いのではないかな。

◇戦略広報・アドバイザー

賑やかな商店街・飲食店が多いという要素について、新宿や渋谷とは違った賑やかさの見せ方・発信の仕方があるのではないかなと思いながら発表を聞いていた。

○区長

せんべろのまちの活用については、これから若い世代に興味をもってもらうために1つの面白いアイデアだと感じた。

北区としては、秋ごろから公式インスタグラムを開設する。これをどんどん活用していく必要があると感じた。万波アドバイザーという広報のプロからのアドバイスを受けながら取り組んでいきたい。

(2) Bグループの発表について

●Aグループ参加者

それぞれのまちや地域単位でまとまりがあっても、それらが北区として1つにまとまってイベントや新しい魅力を発信するといったことが必要だと思った。あと、感じたこととしては、私たちにできることはたくさんあると。みんなで作っていく、公民連携といった力が必要だと強く感じた。

●Cグループ参加者

北区を知らない人達にもっと情報を届ける必要があると感じた。若い世代に対しては区HPよりもユーザーが日常的に使用するSNSなどの媒体に入り込んでいくことが大事。災害情報などの固い情報発信とイベント情報などのソフトな情報発信を媒体ごとに使い分けてもいいのでは。

◇戦略広報・アドバイザー

北区全体のメッセージは打ち出しながらも、これに関連する各地域の魅力、具体的なものをしっかり紐づけていくということが大事だと感じた。情報発信のチャネルについては、紙媒体のハードルの高さがある中で、QRコードの活用によるまち全体での情報発信を考えるのもありだなと。いいヒントをいただいた。

○区長

1つのまちや地域としてのイメージはあるけど、北区全体としてのイメージがいまいち湧かないという声があったので、これについて参加者の皆さんが持っている「北区といえばこんなイメージ」みたいなものがあれば聞かせていただきたい。

●Cグループ参加者

「北区出身です」と地方で自己紹介すると、「埼玉県ですか？」と言われたりする。東京の北の玄関口というイメージがある。

●Bグループ参加者

全国の自治体で「北区」という名称は10か所くらいあると思うので、それを逆手にとって北区としての統一イメージはあえてなくてもいいのではないかなと思う。そもそも「北区」という名称に何かを連想させることはすごく難しいとっていて。王子・赤羽など、いろいろな魅力があるまちの集合体が「北区」ですと。それでいいのではないかな。

○区長

「北区」という名称は全国で12ある。北区全体ではなく、まち単位のイメージで売っていくという発想もすごく素敵だと感じた。Bグループの発表からは、「都電の活用」、「デジタルサイネージ」など、今からできそうな分かりやすいアイデアがあり、勉強になった。

(3) Cグループの発表について

●Bグループ参加者

スタンプラリーというアイデアはすごくいいなと思った。北区は高齢者が多いので元気なアクティブシニアの方がスタンプラリーに参加することで、北区の魅力を再発見できて健康づくりにもつながるいい取り組みだと思う。一方、3つのグループの発表全体を通して、若者向けの施策があまりないと感じた。こうした層をターゲットにした施策が増えればもっといいまちになっていくのではないかなと感じた。

●A グループ参加者

スタンプラリーなどは地域の団体が中心となってやっているが、もっと北区役所の方で全面的に実施してほしい。

◇戦略広報・アドバイザー

ゲーム性のあるイベントはとてもいいと思う。初めて北区に来る人の動機付けになるし、北区の魅力って歩いたり、体験したりして初めて感じるものが多いので。

○区長

若者向けの施策について、実は令和7年度から「子ども若者」という形で「若者」をターゲットとしたカテゴリーを増やした。今後は若者にささるような施策や発信をしていきたい。